

3月4日の本会議では、各党の代表質問が行われ、公明党からは沢田晃一議員が登壇しました。福祉施策の充実や防災対策、経済活性化策や女性政策、交通局改革やがん検診の推進など全部で11項目にわたり質問を行いました。

### 交通局の経営改革について提案

経営健全化計画の内容をふまえ、具体的な改革案を提案しました。この提案によれば、年間で約39億円もの経費が削減でき、敬老パス制度の維持も含め、地下鉄駅エレベータの増設など、インフラ整備の一層の充実が可能になります。

提案に対し、河村市長は「ありがたいご提案。ぜひ実現したい」と答弁しました。

### 福祉施策の充実について質問！

重度の介護状態になっても住み慣れた地域で施設に入っているのと同じような介護・医療サービスを向けることが出来る地域包括ケアシステムの構築について、どのように進めていくのかを尋ねました。健康福祉局長は、次期「はつらつ長寿プラン」において地域包括ケアシステムの推進を主要課題として位置付け、数値目標を盛り込み推進していくと答弁しました。

一般企業に就職を希望する知的障がい生徒に対する支援策として、守山養護学校の成果をふまえ、本市独自で高等特別支援学校を設置することについて質したところ、教育長からは小学校の余裕教室などを活用して市立学校の設置を積極的に検討するとの答弁がありました。これにより知的障がい生徒の就職支援が一層充実することになります。

### 観光振興について提案！

東京駅や大阪城で開催され大きな話題となっているプロジェクションマッピングを活用したイベントを名古屋城で開催したらどうかと提案したところ、市民経済局長は、実現に向け検討すると答弁。早ければ、今年の冬にも名古屋城でプロジェクションマッピングイベントが鑑賞できるかもしれません。

### 防災対策について質問！

国で消防団支援法が成立したことを受けて、消防団の処遇改善についての対応を質問しました。消防長は報酬の支給や費用弁償の増額について検討をすると答弁。公明党として、報酬等の支給・増額を今年度中に実施するよう強く要望していきます。

他にも子ども・若者世代に対して重点的に予算を分配する社会保障制度の創設を提案。岩城副市長は、「次期計画を策定する中で方針を検討する」と答弁。

女性が活躍できる社会環境の整備については、男性職員の意識改革が必要との立場から男性の育児休業取得率向上などを提案。総務局長は新たな支援プログラムを策定すると答弁しました。がん検診受診率の向上の取り組みや、人件費や資材価格の高騰により急増している公共事業の入札不調問題についても名古屋市の取り組みを追求しました。



©KOMEI NAGOYA

## 住宅医療や介護、生活支援などのサービスについて質問！

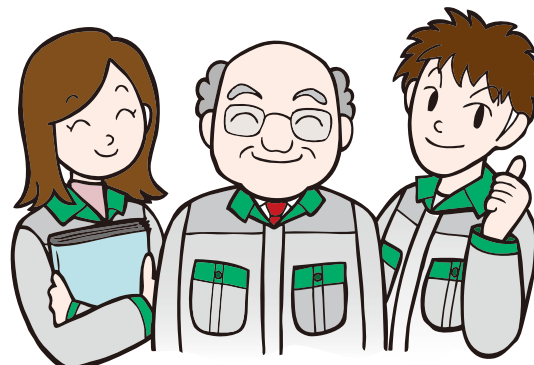
地域包括ケアシステムの具体策について、住み慣れた地域内で住宅医療や介護、生活支援などのサービスを一体的に提供するシステム構築にあたって、本市の課題、考え方について質問したところ、市からは、医療・介護人材の確保も重要な課題であり、具体的な目標と方策の検討が必要。いきいき支援センターがシステムの要となるため、24時間365日対応できる、窓口の強化などに努めるとの考え方を引き出しました。



©KOMEI NAGOYA

## 知的財産を活用したオープンイノベーションの創出支援について提案！

中小企業の新事業創出支援として、大企業や学術機関、名古屋市工業研究所が保有している知的財産（開放特許など）と中小企業のニーズをマッチングさせ、事業化に至るまでを、市が総合的に支援してはどうかと提案。当局より、産業振興につながる有効な方策と考えている、知的財産に関する施策の拡充について検討するとの答弁がありました。



©KOMEI NAGOYA

## 早急な自動三輪車の駐車対策実施を！

多くの人が集まる中心市街地の歩道上には、自転車や自動二輪車などが放置駐車されており、歩行者にとって危険な歩道になっています。自動二輪車の駐車場を積極的に整備している川崎市や新宿区などの対策を示し、名古屋市の対策の遅れを指摘しました。これに対し、民間駐車場への協力の呼びかけや、駐車場への誘導策などを今後積極的に取り組む旨の答弁を引き出しました。



©KOMEI NAGOYA

## 青少年における深夜徘徊への対策について提案！

学校や家庭での問題を抱え、居場所を失い、深夜に徘徊している青少年への対策として、パトロールの実施や声掛けを行う中で、総合的に支援していく仕組みを作るべきであると提案。市長より、若者の悲鳴にはしっかり耳を傾けていかないと、市として何が出来るか考え総合的に取り組んでまいりたいと答弁がありました。



©KOMEI NAGOYA

## 地域防災力の充実強化について質問！

昨年12月に大災害に備えるために国で施行された「消防団支援法」では「消防団が将来にわたり地域防災力の中核として欠くことのできない代替性のない存在である」ことが明記されたことを受け、今後の名古屋市の消防団の強化について処遇改善と装備の充実の質問をしました。消防長からはできる限り速やかに報酬・手当等の処遇改善を進める等の答弁がありました。



©KOMEI NAGOYA

## 名古屋を吹奏楽部員のあこがれの地に！

中学、高校の吹奏楽部員が目指す全日本吹奏楽コンクールが現在、名古屋国際会議場 センチュリーホールで仮開催されており、この大会を来年以降も名古屋で開催できるよう、本市も積極的に協力し、中高生の憧れの場として誘致すべきと質問しました。これに対し、練習会場としての学校施設等の提供や、高校吹奏楽部員によるボランティア協力などの支援体制を検討していくことを主催者側に提案していくとの答弁がありました。



©KOMEI NAGOYA

## 本丸御殿復元に携わる匠の技の継承と顕彰について提案！

第一期公開が行われている名古屋城本丸御殿は、匠の技と優れた美術工芸が調和した城郭御殿の最高傑作と言われています。様々な伝統技術職人への感謝の意を込めて、本丸御殿完成後に銘板または資料集等にお名前を留めることを提案。市民経済局長からは職人の方々に敬意を表し何らかの形で名前を残したいと前向きな答弁がありました。



©KOMEI NAGOYA